Ｂ－１　単元計画と評価計画

指導計画・評価計画（総時数　９時間、本時　第一次の６時）

次	時	ねらい	主な学習活動			評価規準	評価の観点			
			ホップコース	ステップコース	ジャンプコース		関	考	表	知
一（６）円	1.2	・円の概念や中心、半径の用語の意味や性質をがわかる。	・身の回りにある円や球の形をしたものを取り上げ、円などの基本図形への　興味、関心を持ち学習のめあてをつかむ。		・「的当てゲーム」で、平等になる並び方を考える。	・円をかく方法を考えようとしている。	○			
			・まるい形を写す方法や中心から決まった長さの点の集合を結ぶなどの方法で作図し、円の性質を知る。 ・まるい形を「円」ということ、及び「中心」「半径」の意味を知る。	・まるい形を中心から決まった長さをとる方法で作図し、円の性質について考える。 ・まるい形を「円」ということ、及び「中心」「半径」の意味を知る。	・まるい形を自分の考えた方法で作図し、円の性質について考える。 ・まるい形を「円」ということ、及び「中心」「半径」の意味を知る。	・ひもや自作コンパスを使った作図を通して、半径はどれも同じ長さであることを見出している。 ・円の概念及び中心、半径の意味を理解している。		○		○
	3	・直径の意味や直径と半径の関係がわかる。	・中心を通る直線が直径であることがわかり、直径と半径の長さの関係がわかる。	・切り抜いた円の中心の見つけ方について考え、「直径」の意味を知り、直径と半径の長さの関係がわかる。	・円の中心を見つける方法について考え、直径について理解し、直径と半径の関係を式に表すことができる。	・中心の見つけ方を工夫して考えている。 ・直径の特徴を理解している。		○		○
	4	・コンパスを使って円をかくことができる。	・作図をしながらコンパスの使い方を確認し、半径の長さが決められた円をかくことができる。	・コンパスの使い方を理解し、半径の長さが決められた円をかくことができる。	・コンパスの使い方を理解し、半径の長さや直径の長さから円を作図することができる。	・コンパスを使って、て、指定された半径の円をかくことができる。			○	
	5	・外的な活動を通して学習内容の理解を深め、円についての興味を広げる。	・コンパスを使って工作用紙に模様をかいたり、こまを作ったりする。	・コンパスを使って工作用紙に模様をかいたり、こまを作ったりする。	・コンパスを使って工作用紙に模様をかいたり、こまを作ったりする。	・学習内容を適切に活用して、活動に取り組もうとしている。	○			
	6（本時）	・コンパスは長さを写し取る機能があることがわかる。	・長さ（２つの直線）を比較するときにもコンパスを使えることを理解し、長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりする。	・長さ（２つの直線と１回の折れ線）を比較するときにもコンパスを使えることを理解し、長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりする。	・長さ（２つの折れ線）を比較するときにもコンパスを使えることを理解し、長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりする。	・コンパスで長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりすることができる。 ・コンパスは長さを写し取ったり、同じ長さに区切ったりする機能があることを理解している。			○	○
二（１）球	1	・球の概念とその性質を理解する。 ・円や球の形の直径のはかり方を知る。	・球の概念とその性質について理解し、球の中心を見つけたり、半径、直径の測定方法を考えたりする。	・球の概念とその性質について理解し、球の中心を見つけたり、半径、直径の測定方法を考えたりする。	・球の概念とその性質について理解し、球の中心を見つけたり、半径、直径の測定方法を考えたりする。	・球の切り口は、球の中心を通る平面で切った場合が最大であることを見出している。 ・球の概念や性質を理解している。		○		○
まとめ	1・2	・学習内容の理解を確認する。	・「たしかめよう」に取り組んだり、作図の定着を図る。	・「たしかめよう」に取り組んだり、作図の定着を図る。	・「たしかめよう」に取り組んだり、作図の定着を図る。	・基本的な学習内容について理解している。				○